

# 導入事例紹介 — 4ステレオ同時監視機能 —

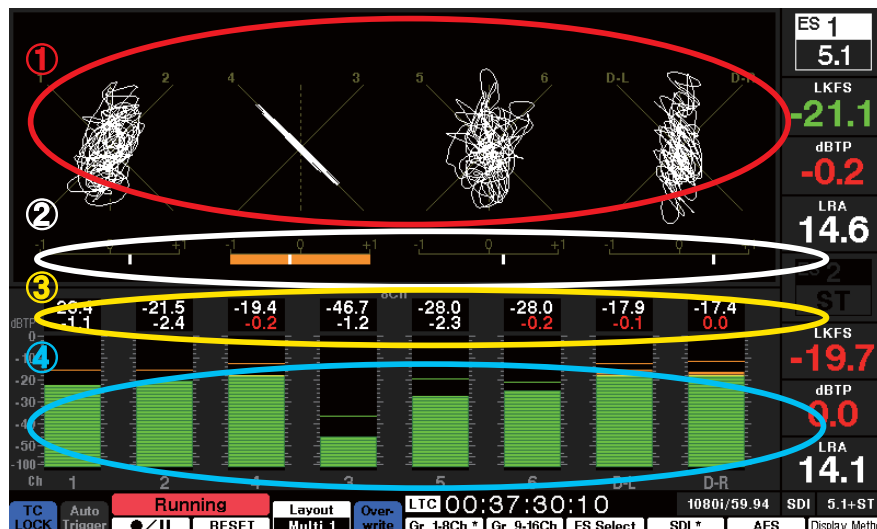
## AM-3807-A

株式会社テレビ朝日様 共同開発機能

### 事例紹介

ラウドネスモニタAM-3807-Aに、4ステレオを同時監視できる新機能を追加。複数の信号を同時に確認しなくてはならない回線監視に便利な機能ということで、テレビ朝日様より本機能のご提案を頂き実現いたしました。

### 画面イメージ



### 機能説明

#### ①リサージ

4ステレオ分のリサージを同時表示可能です。同一グループ内(1~8chもしくは9~16ch)であれば任意に割り当てることが可能です。

例) 1番: L=CH1/R=CH2、2番: L=CH1/R=CH3、  
3番: L=CH3/R=CH4、4番: L=CH5/R=CH6

#### ②位相表示バー

設定している閾値を越えた時に四角の警告色(アンバー)に変わります。

#### ④音声レベルバー

1~8chもしくは9ch~16chの表示の切り替えが可能です。

#### ③音声数値レベル表示

音声レベルを数値で表示します。上段は現在のレベル、下段は最大値です。

### 現場の声 — 株式会社テレビ朝日 技術局 設備センター 森田 泰士 様 —

テレビ朝日回線センターでは、国内外から300回線以上の信号を入出力し、信号確認を行っています。

今回、機能追加していただいたリサージ波形同時表示により、位相反転等の不具合を瞬時に見極めることができ、生中継対応など限られた時間の中で、迅速に信号確認を行うことができました。

また、音声レベルバーのチャンネル切替は、従来コンフィグ画面から個別設定が必要でしたが、ワンタッチで1~8chと9~16chを切り替えられます。

これらの新機能追加により、運用者の負担を格段に減らすことが可能になりました。

※) 本カタログに記載の仕様、外形などは改良の為予告なく変更する場合があります。